



2023年3月7日

リトルリーグ東北連盟関係者 各位

リトルリーグ東北連盟

理事長 安藤 智春

配信 事務局長 浅野 修一

(公印省略)

## リトルリーグ東北連盟方針 投手の休息日、投球数制限について

日本協会から2023年シーズン以降について、投手の投球に関し休息日の厳格化が示されました。

上位大会に結び付く試合（各県協会、東北連盟大会）については、リトルリーグルール<sup>1</sup>の休息日を全試合採用する。

また東北連盟に所属する各県協会が主催する大会についても、投手の休息日を全試合採用し、選手の肩、肘、身体へのダメージが少なくなるよう留意する。

各県協会に所属するリーグ、チーム主催の各大会においては下記に記載するいずれかの対策を採用し対応すること。

またリーグ、チーム同士が対戦するオープン戦（練習試合など）に関しても同様の対応を行うこと。

なお他連盟（県外）での大会参加、オープン戦（練習試合など）においては、当該の連盟が適用する休息日に関するルールに準拠しても良い。

対象：県協会主催試合、リーグ（チーム）主催試合、オープン戦（交流戦、練習試合）

対策：大会、試合毎に『対策1』または『対策2』を採用しなければならない。

### 対策1

全試合休息日を適用する。休息日は以下のとおりである。



■投手が1日に投球できるのは下記とする。

リトル年齢区分 最大投球数

13歳選手	95球
11、12歳選手	85球
9、10歳選手	75球
8歳選手	50球

■投手はその投球数によって下記休息日（登板禁止日）を守らなければならない。

1日の投球数 休息日

66球以上	4日
51～65球	3日
36～50球	2日
21～36球	1日
20球以下	不要

休息日はいずれも最終打者と対峙した時点での投球数が対象となる。

注：いかなる状況下でも、投手は3日間連続して投球してはならない。

## 対策2

連続した日程で投球する場合に、累積投球数に制限を設ける。

大会、オープン戦（講習試合、練習試合）において、投手が連続した日程で投球する場合は、1試合空けることにより投球を可能とし、2日間の累積投球数に制限を設ける。

■リトル年齢別累積投球数の制限

投手は1試合空けての投球を可能とするが、連日投球する場合は累積投球数に制限を設ける。

- ・13歳選手95球の場合：1試合95球、2日間累積135球迄までに制限する。



- ・ 11、12歳選手85球の場合：1試合目85球、2日間累積120球までに制限する。
- ・ 9、10歳選手75球の場合：1試合目75球、2日目以降累積105球までに制限する。
- ・ 8歳選手50球：リトルリーグ休息日を適用する。

注：いかなる状況下でも、投手は3日間連続して投球してはならない。

#### 【留意点】

- ・ 連休などで連続して大会参加、オープン戦が続いた場合でも休息日または累積投球数制限を遵守すること。
- ・ 連続した日程で大会参加する場合も、休息日または累積投球数を継続すること。大会が異なってもリセットにはならない。

(例：Aリーグ会長杯（土曜開催）で85球投球 ⇒ Bリーグ会長杯（日曜開催）は累積制限により50球までの投球が可能。)

#### 【監督、管理事項】

各県協会役員及び理事は所属リーグ、チームで適正に運用されているか監督、管理することが望ましい。

以上